

安全、安心なインフラ整備を担う 責任増す建設コンサルタント

道路や橋から上下水道まで、暮らしに欠かせないインフラ整備を国や自治体とともに計画、設計、維持・管理をしているのが建設コンサルタントだ。安心、安全な暮らしへの関心の高まりとともに、建設の専門家集団としての責任はますます高まっている。建設コンサルタント協会近畿支部の委員らに、その仕事や業界の動向、社会貢献について聞いた。

道路や橋などを 調査、設計

建設コンサルタントとはどのような仕事でしょうか？

川崎 国民生活を支える道路や橋、公園、上下水道などの調査、計画、設計を行っています。国や自治体、民間企業などの「事業者」と、工事を実際に行う建設業者（施工者）の間には、時にはアドバイザー、時にはパートナーの役割を担っています。

例えば、1本の橋を建設するとき、どのような業務を担当するのでしょうか？

川崎 橋を架けるのか、土質や周辺環境を調べて長さや材質、形式を構造的、経済性、施工性や景観、維持管理の容



川崎 啓太氏

易さと照らし合わせながら決めていきます。その後、構造計算をして工事に必要となる設計図面等を作成するところまでが仕事となります。

鳴津 例えば、橋を一つとっても、同じ橋は多く、それぞれの条件において設計などの課題が出てきますが、自分が計画、設計などに携わったものが形になるのは、建設コンサルタントにとって

鳴津 例えは、橋を一つとっても、同じ橋は多く、それぞれの条件において設計などの課題が出てきますが、自分が計画、設計などに携わったものが形になるのは、建設コンサルタントにとって

鳴津 裕道氏

北野 新規事業に加え、平成24年の中央自動車道管轄トンネルに、構想や計画段階から携わることができているのが、仕事の大きな魅力と言えます。

災害時の 復旧計画に貢献

近年、全国各地で大規模な災害が発生しています。災害時、インフラはまさに住民の生命線となります。非常時には、どのような役割を担うのでしょうか？

北野 災害時は協会レベル、会社レベルで、支援要請にはできる限り協力しています。国交省や自治体、高速道路会社なども協定を締結し、地震や津波、風水害などが発生した場合、応急対策調査、設計を実施し、被害の拡大防止や早期復旧に貢献しています。

鈴木 例えは、大雨や洪水で河川が氾濫したような場合、会社の河川担当者は、すぐに現地に向かいます。土砂崩れや洪水で道路が使えなくなった場合、復旧計画を考え、代替ルートの確保などを計画します。



鈴木 直司氏

（山梨県の天井板崩落事故以来、維持・管理に対する社会的なニーズが高まり、維持・管理の仕事も増えています。近畿支部でも維持・管理に関する研究委員会を立ち上げ、シンポジウムを開催するなど、継続して研究を進めています。

川崎 東日本大震災のような大きな災害の場合、国や自治体とともに業界も総出となって、復旧業務にあたりました。当時、被災地となった自治体では、市の職員も多数が被災され、また、事業量の膨大と事業の迅速性を補うため、私の会社では100人規模で技術者を現地へ派遣し、CM業務として、行政職員の立場で復旧計画の策定や設計・施工の管理をおこなっていました。



北野 俊介氏

千崎 採用活動において、社会貢献したいと社志望してくれる学生が多いのも、この業界の特徴といえるかもしれません。

学生や子供にも 業務内容をPR

千崎 求められる大きな役割を果たすためには、人材の確保や若手の育成は欠かせません。職場環境はどうなのでしょうか？



千崎 芳氏

千崎 社員構成は、理系が中心ですが、法律や事業運営の知識が必要な業務など文系の活躍の場も増えています。以前は男性の多い職場でしたが、近年は女性の進出も目立っています。仕事については、業務の工期が集中する年度末が忙しくなる傾向があり、長時間労働が課題となっています。こうしたなか、協会が旗振り役となって、顧客もしくは、受発注者協働による、建設業界の長時間労働を解消し、技術者育成の取り組みを行っています。最近では、全会員企業による特定月の毎週水曜日に「二斉一残業デー」を実施しています。

関西の発展に 向けて提言

インフラ整備を担う建設コンサルタントの立場から、協会では関西のあるべき姿に向けた提言を行っています。内容について

鈴木 関西は、首都圏に次ぐ経済圏にも関わらず相対的に地位の低下が見られます。インバウンド（訪日外国人客）による観光消費の拡大を活性化につなげ、防災の面からも、東京一極集中是正の受け皿となるべきだと考えています。こうしたなか、近畿支部では「立ち上がり関西、新しい道路網整備2050」、建設コンサルタント技術者集団による「YUME ROAD2050」と題した提言をまとめました。高速道路のミッシングリンクの早期解消と都市圏料金体系のシームレス化、新たな国土軸として中部・関西・四国連絡道路の整備を提言しています。国や地域の将来像を描く、こうした構想を提案していくのも、建設コンサルタントの使命だと考えています。



建設コンサルタント魅力発信委員会

川崎 啓太 委員長

働き方研究委員会(旧男女共同参画委員会)

千崎 芳 委員長

社会資産共有活動委員会

鳴津 裕道 委員長

技術部会

北野 俊介 参与

道路研究委員会 国土交通計画研究分科会

鈴木 直司 委員長

（参加者）

（一社）建設コンサルタント協会近畿支部
昭和37年に発足。現在、会員企業は112社。近年は「他団体との連携」にも力を入れ、近畿地方整備局や自治体、学校などへの講師の派遣や若手技術者の合同現場研修会を実施。また、関西地質調査業協会など4協会で協定書を締結、大規模災害時業務連携協定活動「CIVIL3（シビル・スリー）」として、災害訓練などに取り組んでいる。

- （株）アーバンバイオニア設計
- 朝日航洋
- アサヒコンサルタント
- アジア航測
- （株）アスコ大東
- （株）石居設計
- いであ
- （株）ウエスコ
- （株）エイテック
- （株）イト日本技術開発
- （株）エース
- （株）エンタコンサルタント
- 応用地質
- （株）オオバ
- （株）オリエンタルコンサルタンツ
- 開発虎ノ門コンサルタンツ
- （株）カイヤマグチ
- （株）片平新日本技研

- 川崎地質
- （株）環境総合テクノス
- （株）かんこう
- （株）キクチコンサルタンツ
- 基礎地盤コンサルタンツ
- キタイ設計
- （株）キミノ
- （株）京都インクス
- （株）橋梁コンサルタント
- 協和設計
- 近畿技術コンサルタンツ
- 近畿設計測量
- （株）近代設計
- クモノスコポーレーション
- 京福コンサルタント
- （株）建設環境研究所
- （株）建設技術研究所
- （株）構造設計研究所

- 晃和調査設計
- 国際航業
- （株）国土開発センター
- 国土防災技術
- サンコーコンサルタント
- サンスイコンサルタント
- （株）サンワコン
- （株）CTIウイング
- ジェイアール西日本コンサルタンツ
- ジビル調査設計
- 写測エンジニアリング
- （株）ジャパックス
- （株）修成建設コンサルタント
- 伸栄開発

- （株）新洲
- （株）新土木開発コンサルタンツ
- （株）スリーエスコンサルタンツ
- （株）西播設計
- 正和設計
- セントラルコンサルタント
- 全日本コンサルタント
- （株）綜合技術コンサルタント
- 第一建設設計
- 第一復建
- 大成エンジニアリング
- 大日コンサルタント
- 大日本コンサルタント
- （株）ダイヤコンサルタント

- （株）大洋エンジニアリング
- 玉野総合コンサルタント
- 中央開発
- 中央コンサルタント
- 中央復建コンサルタンツ
- （株）長大
- （株）千代田コンサルタント
- （株）帝国コンサルタント
- （株）東京建設コンサルタント
- （株）東京コンサルタント
- （株）東洋技研コンサルタント
- （株）トニーコンサルタント
- 内外エンジニアリング

- 中日本建設コンサルタント
- （株）中山総合コンサルタント
- （株）浪速技研コンサルタント
- （株）ニコス
- （株）日建技術コンサルタント
- （株）日建設計シビル
- （株）日本コン
- （株）日本工管
- （株）日本構造橋梁研究所
- （株）日本交通技術
- （株）日本港湾コンサルタント
- （株）日本シビックコンサルタント
- （株）日本復興
- （株）ニュージェック
- （株）パシフィックコンサルタンツ
- （株）パスコ
- （株）八州
- （株）阪急設計コンサルタント

- （株）阪神コンサルタンツ
- （株）阪神測建
- （株）ビーエムコンサルタント
- （株）吹上技研コンサルタント
- （株）復建エンジニアリング
- （株）復建技術コンサルタント
- （株）復建調査設計
- （株）河間コンサルタント
- 三井共同建設コンサルタント
- （株）明治コンサルタント
- （株）八千代エンジニアリング
- （株）リオプラン
- （株）若鈴コンサルタント
- （株）和歌山航測
- （株）和建技術
- ワコウコンサルタント